

白梅学園大学 子ども学部

◆ 教育目標

白梅学園大学子ども学部は、建学の理念であるヒューマニズムの精神に基づき、社会の今を担い、未来を受け継ぐ子どもとともに、新しい明日を築く、幅広い知見、豊かな教養を備えた人材を養成することを目指しています。そのために、リベラルアーツ教育と子ども学に関わる専門教育を二つの柱として、子どもの育ちや子どもを取り巻く文化・社会状況に働きかける高い専門性を身につける教育を行います。

【子ども学科】

子ども学科では、人間研究の幅広い視野に立って、乳幼児から学童期も含めた子どもの成長や発達について理解を深め、子どもを取り巻く環境、さまざまな問題や文化状況を理解し、保護者や地域の人々とともに、子どもの健やかな生活・発達を援助できる能力・技術を身につけることを目指しています。その能力を保育、幼稚園教育、小学校教育、社会福祉の分野で活かすことができる人材を養成します。

【発達臨床学科】

発達臨床学科では、心理学の知見を基礎として、乳幼児期から成人期に至る長い期間の発達について理解を深め、そこで生じる諸問題への心理的教育的なアプローチの仕方を学び、発達段階において困難を抱えた人々を理解し、支援できる能力を身につけることを目指しています。その能力を、保育、幼稚園教育や特別支援教育の分野で活かすことができる人材を養成します。

【家族・地域支援学科】

家族・地域支援学科では、家族と地域をめぐる子どもの環境と社会福祉に関する理解を深め、子どもを中核に置いた家族と地域全体に生じる社会問題を適切に理解し、困難な状況に置かれている子どもや子どもをめぐる人々全体を支援できる能力を身につけることを目指しています。その能力を、ソーシャルワークやケアワークの分野で活かすことができる人材を養成します。

◆ アドミッション・ポリシー

子ども学部が求める学生像は次のとおりです。

- 高等学校等での基礎的諸教科のそれぞれについて、必要な学力を有していること。
- 物事を論理的に捉え、自らの考えを持ち、それを表現できること。

【子ども学科】

ヒューマニズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、子どもと、子どもを取り巻く環境や文化、保育・教育に関心があり、その分野に関わる仕事を目指していること。

【発達臨床学科】

ヒューマニズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、発達段階において困難を抱えた子どもやその周りの人への支援に関心があり、その専門性を活かす仕事を目指していること。

【家族・地域支援学科】

ヒューマニズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、家族、地域、子ども、社会福祉、学校の問題に関心があり、その分野に関わる仕事を目指していること。

白梅学園短期大学 保育科

◆ 教育目標

白梅学園短期大学保育科は、建学の理念であるヒューマンイズムの精神に基づき、保育・幼児教育と子どもを取り巻く家族や現代社会に関する理解を深め、子どもの権利を尊重し、現代社会において子どもや家族の健やかな成長・発達を支援するために、豊かな人間性と確かな専門的力量を身につけた人材を育成することを目指しています。

そこで、科学的認識に基づく新しい保育理論と技能をバランス良く学び、保育士の国家資格および幼稚園教諭2種免許の取得を可能にするカリキュラムを配置しています。

◆ アドミッション・ポリシー

保育科の求める学生像は次のとおりです。

- ヒューマンイズムの精神に基づき社会に貢献する意思を持ち、保育士および幼稚園教諭の職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人。
- 高等学校等での国語等の基礎学力があり、十分な保育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人。
- 子どもを人間として尊重し、ともに成長しようとする人。